



総合的な学力とは

堺市では、子どもたち一人ひとりが「未来を切り拓く力」をみにつけるため、「総合的な学力」の育成が大切だと考えています。「総合的な学力」とは、学校・家庭・地域で子どもたちが発揮する以下の3つの力と捉えています。

- ・実際の社会や生活で生きて働く**知識及び技能**
- ・未知の状況にも対応できる**思考力、判断力、表現力等**
- ・学んだことを人生や社会に生かそうとする**学びに向かう力、人間性等**

これらの力は、以下の2つがあります。

- ・テストで測ることのできる力（計算ができる、漢字が書けるなど）
- ・テストで測ることのできない力（ねばり強い、好奇心があるなど）



子ども一人ひとりに、総合的な学力がみにつくために（主観的に学びを捉える）

わたしに合った学び方は、友だちと一緒に学ぶ方法です。考えを話したり聞いたりして、納得しながら学ぶ方法が、わたしには合っていると思います。



わたしに合った学び方は、1人で繰り返し問題を解く方法です。それと合わせて友だちと学ぶことも大切だと思います。友だちに自分の考え方等を説明する中で、自分自身の理解も深まります。



子ども一人ひとりに、総合的な学力がみにつくためには、例えば、うえの2人のように「今の自分に合った学び方」について考えることが重要です。そして、考えをもとに取り組み、子ども自身が「今の自分に合っている」「自分がどんなことができるようになったか」の実感をえながら学び進めることが大切です。

※市内中学3年生のインタビュー内容から引用



子ども一人ひとりに、総合的な学力がみにつくために（客観的にふりかえる）

主観データ（実感等）と客観データ（調査等の結果）による多角的な理解により、学校や保護者等が、子どものがんばりを認め、励ましたりすることが重要です。

そして、子ども自身も自分のがんばりを実感し、学校での学びを日常生活で発揮したり、家庭や社会での経験を学校生活にいかしたりできることが大切です。



各種調査等のスケジュール

実施時期	調査名	対象学年・教科等
4月18日（火）	全国学力・学習状況調査	小6：国語、算数、質問紙調査
4月17日（月） ～ 4月25日（火）※	大阪府小学生すくすくウォッチ	小5：国語、算数、理科、 教科横断的な問題 小6：理科、教科横断的な問題
5月11日（木） ～ 5月24日（水）※	IRTを活用した堺市学力状況調査	小4：国語、算数
6月23日（金） ～ 7月14日（金）※	堺市児童生徒学習・生活状況調査	小3～小6：質問紙調査

※ 学校が実施期間から選択して実施します。



IRTを活用した学力状況調査について

IRTとは、集団や受検の時期、問題の難しさなどの影響を受けず、学力の変容を調査できる手法（項目反応理論）のことです。調査結果をもとに、1年前の自分と比べ、自分のがんばりや自分に合った学び方について考えることができます。

※ 初年度である令和5年度は、変容をみることができません。



各種調査等の活用について

教育委員会は調査結果から、子どもたちの一時期の一側面の学習状況を把握し、市の政策の効果検証をします。学校は、授業づくり等の教育活動の検証改善に活用します。子どもたち自身もこれまでの学びをふりかえり、自身の励みとしたり、これからの学びに活かしたりします。調査結果が返ってきた際には、お子さまのがんばりを認め、これからの学びに対して励ましをお願いします。

IRTを活用した堺市学力状況調査

これまでの自分と比べて今の自分の学力を測る

全国学力・学習・生活状況調査等

集団の中での今の自分の学力を測る